

# 同志社国文学

## 第 38 号

- 小竹の葉のさやぎ……………駒 木 敏 ( 1 )  
 ——『万葉集』卷二・一三三番歌解——
- 『日本書紀』編集考……………神 尾 登喜子 ( 14 )  
 ——歴史説明としての「時人」——
- 『源氏物語』の「楽」論……………廣 川 勝 美 ( 29 )  
 ——聖代の行幸——
- 物語の「逍遥」……………谷 口 孝 介 ( 44 )  
 ——『伊勢物語』六十七段から『源氏物語』へ——
- 平家物語内裏炎上の深層……………谷 口 廣 之 ( 56 )  
 ——日吉神火と熒惑入太微——
- 
- 『江談抄』「大納言道明到市買物事」釈解……………廣 田 收 ( 73 )  
 ——「往代」と「市」をめぐって——
- 
- 『万葉集』卷十三長歌の本文と異伝……………勝 見 昌 浩 ( 82 )
- 『源氏物語』須磨退居の理念……………栗 生 浩 二 ( 94 )  
 ——さては琴一つぞ——
- 同志社大学国文学会彙報…………… ( 105 )

1 9 9 3 ・ 3

同志社大学国文学会